

されている。

中島・岡本専務は05年5月に「黒船祭」が開かれた下田市を訪れ、了仙寺主催の「ペリー提督応接料理の再現」の場でペリー提督の子孫に保命酒を「献上」した。幕末にペリー提督が開国を迫るため、浦賀（横須賀市）に「黒船」で来航した際、幕府主催の晩餐（ばんさん）会に、福山藩主で幕府老中筆頭の阿部正弘公が福山市鞆町の特産品「保命酒」を献上したことにならんだ。岡本亀太郎本店が醸造した「十六味ミツボシ保命酒」は、通称「ペリーボトル」として下田市の酒類販売店「土藤商店」で販売されている。

# 下田・了仙寺のHPに紹介

## 中島商店と岡本亀太郎本店

### 保命玉ペリーラベル版登場

食品卸・

小売り業者、

（株）中島商店

（福山市御船

町1-13-5、

中島良昭社

長・中島基社

晴専務、電0

84・92

2・487

0、<http://naka-kataku.com>

）と、鞆の

浦名産「保命酒」醸造の（株）岡本亀太郎本店（同市鞆町鞆927-1、

岡本憲良社長・岡本良知専

務、電同982・2126、  
<http://www.honke-houmeisyu.com>）は、幕末に日米和親条約の付帯協定「下田条約」が締結された場として知られる了仙寺（神奈川県下田市）のホームページ（<http://wwwizu.co.jp/~ryosenji/>）に紹介



ま」「アメ」が了仙寺宝物館のギフトショップで「ペリー ラベル版」の「保命玉」（一袋140g・320円）＝写真＝として発売される」といって、の使用許可を得て実現した。なった。同寺所蔵のペリー像